

## 新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会資料

医療法人ゆうの森理事長 永井康徳

## 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニックのご紹介

- 愛媛県松山市で2000年に職員3人で在宅医療専門クリニックとして開業し、16年目
- 現在、常勤医9人、非常勤医2人、看護師26人の体制で職員100人を超える
- 多職種チーム（MSW、介護士、PT/OT/ST、栄養士、CM、調理師、鍼灸マッサージ師など）
- 松山市で在宅患者480人、西予市へき地診療所外来＋在宅患者60人を診療
- 平成23年4月から西予市へき地診療所の閉鎖に伴い、民営化して運営している
- 平成28年2月から松山市で在宅療養のための有床診療所「たんぽぽのおうち」開設
- 平成28年5月から外来本格開始
- 平成28年6月へき地医療の取り組みで日本サービス大賞地方創生大臣賞を受賞



## ゆうの森で行っている医療

- 毎朝の全体ミーティングをへき地診療所とWEB会議で行い、ICTを活用して多職種のチームでの情報の共有と方針の統一を行っている
- 「たんぽぽ方式」と呼ばれる24時間365日体制システムで疲弊しない体制を維持



## 「新たな医療のあり方」に関する最も重要な論点3つ

- ① 亡くなる最期まで治し続けるのではなく、死に向き合い、治せなくても支える医療
- ② 単独職種でかかわるのではなく、多職種のチームで患者に向き合う
- ③ ICTをうまく活用した情報の共有と方針の統一

平成28年10月3日